

## 地震の伝わり方と地球内部の働き(1)

【1】次の文章は、地震のゆれの伝わり方について説明したものである。

( ) に当てはまる言葉を書くか、○でかこみなさい。

- (1) 地震の発生した場所を(① )といい、震源の真上の地表面上の地点を(② )という。
- (2) 地震のゆれは、水面にできた波紋と同じように、地中や地表面を(③ )となり伝わっていく。
- (3) 地震のゆれのうち、はじめの小さなゆれを(④ )といい、(④)につづく大きなゆれを(⑤ )という。
- (4) 初期微動しよきびどうを伝える波を(⑥ )といい、主要動しゅようどうを伝える波を(⑦ )という。
- (5) P波とS波では、(⑧ )の方が伝わる速度が速い。
- (6) 地震の観測点において、P波が到着してからS波が到着するまでの時間を、(⑨ )という。
- (7) ⑨は、P波とS波のアルファベットを用いて(⑩ )ともよばれる。
- (8) ⑨は、震源から離れるほど(⑪ )くなり、そのふえ方は距離にほぼ(⑫ 比例・反比例 )する。

【2】右の図は、地震が起こった場所のようすを表したものである。

- (1) 地下で地震が発生した場所Aと、その真上の地点Bを、それぞれ何というか。

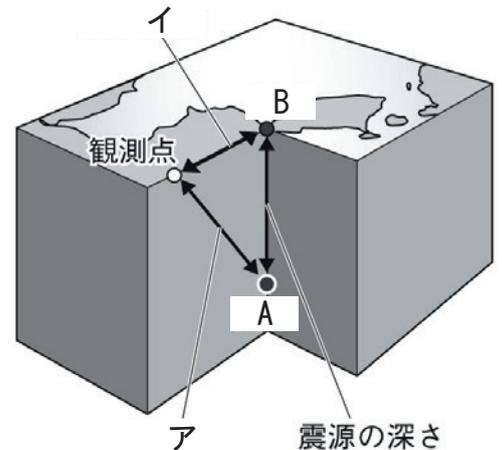
A ( )

B ( )

- (2) 図のアとイの距離を、それぞれ何というか。

ア ( )

イ ( )



【3】次の文章は、地震のゆれの大きさと、地震の広がり方について説明したものである。

( ) に当てはまる言葉を書きなさい。

- (1) 地震による土地のゆれの大きさを表したものを(① )という。
- (2) 震度は(② )で測定される。
- (3) 震源で発生した地震の波は、ほぼ(③ )の速さで伝わるため、地図上の地震の波の到着時刻が同じ地点を線で結ぶと、震央を中心にほぼ(④ )形になる。
- (4) 地震そのものの規模の大きさは(⑤ )で表され、その記号は(⑥ )と表す。
- (5) ⑤の値が大きいほど、地震のエネルギーは(⑦ )く、ゆれの伝わる範囲は(⑧ )い。